

ちくさんスナツプシヨット

平成 25 年 10 月 第 29 号 株式会社富士飼料

【変化】

TPP 交渉の年内妥結が噂されるなど、懸案事項が迫ってきています。国内畜産産業及び飼料産業に影響を与える事が避けられそうもなく、国内畜産生産の縮小、飼料需要の減少が進みそうな情勢です。飼料業界への影響は大きく、業界の再編成が必至となる事でしょう。

農水省発表の統計では、2011 年度の農業・食糧関連産業の国内生産額は 94 兆円強。これは全経済活動の 10.5% で、うち農業部門は 9 兆 4 千億、畜産部門は約 3 兆円との事です。国内畜産を守れ！と、国産を選んでもくれる消費者がどれくらいいるのか、量販店が価格度外視して選択してくれるのか。。。安心安全を求めているものの、厳しい選択です。我々にできるのは、畜産物の草の根的な PR や啓蒙。機会があれば積極的に外に向かってアピールしていきましょう！

【担当：二瓶洋一】

輸入粗飼料情勢 (平成 25 年 9 月 10 日全酪連発表)

アルファルファ

産地により多少差はありますが、1 番刈は残念ながら今年も雨当たり被害が多く発生しています。ワシントン産では 90%、オレゴン産では 40% 程度が雨当たり品となりました。逆に 2 番刈は生育中に非常に暑くて乾燥した気候が続いたため、分析値はあまり良くないスタックが多く発生している模様です。

3 番刈の収穫が 7 月下旬から開始されていますが、8 月上旬に降雨がありました。そのため、雨当たり品や色あせ（ブリーチ）が目立つスタックが多く発生している模様です。また、生産量は少なくなることも予想されています。

チモシー

米国产、カナダ共に収穫時期の 6 月中下旬に断続的な降雨があり、深刻な雨当たり被害が発生しています。“近年まれにみる厳しい作柄”となった昨年の 1 2 年産を上回るほどの“史上最悪な厳しい作柄”であると、産地では言われています。馬向けも酪農向けもハイグレード品の発生量はかなり限定的で、確保は極めて困難な状況となっています。そのような状況下であるがゆえに、例年の中間グレード品が今年のプレグレード品に、例年のローグレード品が今年の中間グレード品に、というように、1 3 年産ではグレーディングがずれてきているとも伝えられています。

当初は今年こそ軟化することが予想されていた産地価格も、一転して堅調に推移し、中間以上のグレードは“史上最高値”で推移しているのが現状です。為替円安の状況下で、特に酪農向けには費用対効果のある価格帯でいられるのかどうか、産地では疑問視もされています。他草種への移行も、視野に入れる必要があると思われます。

【宮城県南養牛担当：佐藤研治】

10-12 月配飼価格改定

10-12 月渡しの配飼価格は「全畜種平均値下げ」です。飼料安定基金より 700 円/㌦ 補填される見込みです。改定の背景は次の通りです。

コーン価格は大豊作期待により下落。大豆価格は夏の降雨不足から急騰。海上運賃は新造船の竣工が増加するが北米からの穀物輸送も増加するため堅調。為替は日米両国とも景気回復基調となっている事から、一進一退の相場展開が見込まれる。

それらにより、値下げはかなりの



大崎 TMR センターは順調に稼働中！

(裏面へ)

大崎広域 TMR センター近況

去年 6 月からスタートした大崎 TMR センターは現在 3 件のお客様に支えられ、順調に稼働しております。去年からスタートした登米市 A 牧場様も、乳量、乳質、種止まり等上向きで成績好調をキープされております。

しかしながら、昨今の原料事情により、お客様方の生産コストが上昇し、農場成績を上げてもなかなか売上が伸びないのが現状です。

飼料コストの相談はもちろんの事、我々スタッフも一丸となり飼料の提供だけではなく、お客様の為に農場に関わる全ての事にお手伝い、ご相談を受け今後の畜産経営に貢献出来るよう考えております。

【宮城県北養牛担当：松浦卓也】

畜産農家様で利用できる融資制度について

昨今の畜産生産物価格の低迷と飼料価格高値で、なかなか厳しい生産環境となっております。

以下に融資制度を一覧で纏めてみました。使い途は様々なので、有効にご利用いただくのは如何でしょうか。

【畜産農家様で利用できる融資制度】

分類	民間金融機関(銀行・信用金庫等) (農業近代化資金)	日本政策金融公庫
運転資金	○	○(セーフティネット資金、L 資金)
施設・機械の整備	○	○(農林漁業施設資金、L 資金)
家畜の導入	○	○(L 資金)
糞尿処理施設	○	○(農林漁業施設資金、L 資金、畜産経営環境調和推進資金)
草地	○(事業費 1,800 万円を超えない規模)	○(農業基盤整備資金)
草地利用に係る農業用施設	○	○(L 資金)
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者： 償還 15 年、据置 7 年 金利 0.55~0.95% ・認定農業者以外： 償還 15 年、据置 3 年 金利 1.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ・L 資金： 償還 25 年、据置 10 年 金利 0.55~1.2%※ ・セーフティネット資金： 償還 10 年、据置 3 年 金利 0.55~0.65% ・農業基盤整備資金(災害復旧)： 償還 25 年、据置 10 年 金利 0.55~1.20% ・農林漁業施設資金(災害復旧)： 償還 20 年、据置 3 年 金利 0.55~1.20% ・畜産経営環境調和推進資金： 償還 20 年、据置 3 年 金利 1.2% <p>※ 「人・農地プラン」に地域の中心となる経営体として位置づけられた認定農業者が借り入れる場合は、貸付当初 5 年間実質無利子での貸付が可能。</p>

注：金利は平成 25 年 9 月 19 日現在